

西東京三田会 平成 29 年度第 5 回役員会議事録

日時 : 2017 年 9 月 3 日 (日) 10 時～12 時

場所 : イングビル 第 2 会議室

出席者 : 坂口 (議長)、中野、宮本、原 (洋)、大内、篠崎、高橋、樋口、中田、渡辺 (康生)、牛島、佐藤、宝井、渡辺 (康隆)、小笠原、黒瀬、中村、町田、連絡済み欠席 原 (護)、三輪、小堀

配布資料 : ①事務報告・会計関係報告 ②平成 29 年度活動計画 ③グルメ会 ④ハイキング会及び ANA 見学支援 ⑤ニュースレター 20 編集要綱 ⑥早稲田スポーツフェスタ in 東伏見

回覧資料 : ①三田評論 8・9 月号 ②三田ジャーナル 9 月号 ③稲門会けやき 46 号 ④ゴルフ会案内 ⑤ANA 寄贈『航空会社の秘密』 ⑥自然災害に備えるために (西東京市危機管理室)

議事内容

1. 前回議事録の確認

特に指摘がなかったことを確認後に了承。

2. 会務報告 : 高橋

・会員異動はなく 115 名

・麻雀の会 : 樋口

7 月 23 日、参加者 10 名。次回は 9 月 17 日の P ジャンにて開催予定

・ブルーベリー摘みの会 : 宮本

8 月 6 日、参加者大人 28 名、子供 4 名の合計 32 名。夕涼み会の会費の 9,797 円残金を来年へ繰越す。計測を 1 名で行ったので、来年は補助者が欲しいとのこと。

・30 周年記念事業反省会・慰労会 : 坂口

8 月 20 日、墨花居にて有志 19 名参加。多数参加され多様な意見を頂いた。

・カラオケの会

9 月 7 日、参加者は 3 名だが開催の予定

・第 13 回 ANA 見学支援 : 中野・中田

8 月 29 日、中野顧問と中田理事が実地踏査を実際と同じ 10 時から行った結果を報告。

3 校を予定。東小のみ午後に品川のユニセフの展示を見学する。本町小、柳沢小の昼食場所を検討中。

実踏当日、西東京三田会 30 年誌を副社長他へ 4 部謹呈した。副社長から現在中止となっている航空教室の再検討を指示した旨お話しがあった。

教育委員会は実踏に不参加で、名簿提出に非協力的であり、名簿がないと見学が実施できないことを理解させる必要がある。今回実施後に、会長同行のもと報告会などを行いコミュニケーション不足解消予定。

見学支援協力者は、10 月 30 日 (東小) は中野顧問、中田理事、篠崎副会長、宝井理事、10 月 31 日 (本町小) は中田理事、坂口会長、篠崎副会長、宮本副会長、11 月 14 日 (柳沢小) は中野顧問・中田理事、坂口会長、佐藤理事と決まった。

・ハイキング : 中田

10 月 8 日、横須賀・猿島と北条氏ゆかりの称名寺を訪れる。戦艦三笠の記念館も。

・ゴルフ会 : 原 (洋)

11 月 15 日、高麗川 CC にて 6 組で開催。9 月 10 日以降にメール及び葉書で案内予定。

10月20日、小平三田会、東松山CCにて開催。幹事は斉藤恵美子さん。尚、10月29日に西東京稲門会。

・グルメ会：小笠原

10月28日、両国かいわい散歩。葛飾北斎美術館を見学し、食事のちゃんこは「巴潟」。

・第14回写真・作品展：坂口

11月22～26日、柳沢公民館にて開催。21日は15時～準備後、「はなび」にて懇親会。

小平三田会作品展の成功に倣い、当会でも会員家族の作品の展覧を仰ぎたい旨会長より説明がなされた。

小平三田会、西東京稲門会会員は、有志として出展となる。

・小平三田会・散歩&グルメ会

10月14日、昭和記念公園の西立川口9時集合“箱根マラソン予選会で慶應を応援し、その後懇親会。

・9月18日、西東京稲門会協力の「早稲田スポーツフェスタ in 東伏見」早稲田大学東伏見キャンパス

・会計報告：樋口

30周年事業の寄付や記念事業反省会・慰労会の残金等を「その他入金」として処理した。

記念誌の残部は75冊。柳沢公民館のロッカーにて保管中。一部1,000円にて頒布可能。

3. H29年度活動計画：会長

配布資料のとおり、次の30年に向けたビジョンの策定を考えている。

・来年度総会・懇親会について

来年度の総会時に講演会の実施を検討。懇親会では応援指導部OB筋で考えたい。

講演会は、規模や会場について更に詰めることを前提に開催する方向で了承。

・市民参加型を考えており、テーマについては、防災を考え、東京都、及び、西東京市危機管理室との協力も考えていきたい。

講演会を定例行事とするのかの質問について、定例化するのが三田会らしいとの会長の考えが述べられた。

・その他の意見：市民への声掛けの仕方が重要。細く長く地道に行うのであれば良い。西東京稲門会も総会で講演会を行っているが、実態は関係者がほとんどの様に思える。稲門会は東伏見キャンパスがあるので自然な流れ。直近の稲門会講演会も、一般参加の形で行われている。当三田会では、総会と別立てで開催したこともあるが、現体制では難しい。総会出席者が会員の3分の1で、役員が相当数を占めている。実施には相当なエネルギーが必要で、本年総会・記念行事との違いは記念誌が抜けている程度だと思う。

・時間的な流れとして、稲門会は講演会が先で、その後に総会、懇親会となっている。東久留米三田会、東村山三田会は、30周年記念講演と同様の順番となっている。集客については、講演会を先にした方が、現役塾員が参加し易いとの意見が出た。これは、地域三田会に引きずり込まれてしまう危機感を持っている塾員も多いので、彼らを誘うためには、稲門会方式も良いのではないかとの話も出た。

・下宿自治会では西東京市危機管理室の講演をお願いしているとの説明があり、その資料が回覧された。

・講演会の準備はノウハウもあるが、集客が一番のポイント。コール田無の地下ホールは申込期開始日が11月1日なので、市民会館やこもれびホールも候補先として、次回役員会で会場を決定することとした。

4. ニュースレター20の編集：高橋

・11月20日までの行事に関しては、11月末までに原稿・写真を高橋まで提出頂きたい。

次回役員会は10月29日（日）田無公民館2階第一学習室。書記は樋口副幹事長の予定。

以上 文責 町田栄一郎